

スポーツ振興局長の海外出張について

1 出張先

アメリカ合衆国コロラド州ボルダー市

2 出張期間

平成23年5月28日（土曜日）から同年6月1日（水曜日）まで

3 出張目的

5万人以上が参加する米国最大級のスポーツイベントである **BOLDER BOULDER** の視察や、本大会の関係者との意見交換等を通して、スポーツ祭東京2013開催後におけるスポーツムーブメントの維持向上を目的とした新たなランニングイベントの開催を検討する一助とする。

また、地域の活性化に寄与するスポーツイベントのあり方の参考とする。

4 出張人数

笠井スポーツ振興局長、スポーツ振興局職員 計2名

5 総経費

1,572,054円

6 出張先での行動

日 程	内 容
5月28日（土）	日本出発 現地着
5月29日（日）	○市内スポーツ施設視察 ○SportsEXHIBIT（PEARL STREET MALL）視察
5月30日（月）	○BOLDER BOULDER 視察 ○RACE DAY EXPO 視察 ○BOULDER CREEK FESTIVAL 視察
5月31日（火）	現地出発
6月1日（水）	日本着

7 出張の成果

「BOLDER BOULDER」 Race Director の Cliff Bosley 氏によれば、大会を含む3連休には8万人から10万人の観客や参加者がボルダー市に訪れ、ボルダー市における経済波及効果は少なくとも1千万ドルに上るといふ。実際に、5月28日(土)から30日(月・祝)までの3連休では、「BOLDER BOULDER」を中心に、「BOULDER CREEK FESTIVAL」や「SportsEXHIBIT」が連動し、相乗効果を生み、それぞれのイベントや地元商店街が盛り上がっているのを実感した。このように、スポーツイベントは、地域の活性化に寄与するポテンシャルを持っている。

ニューヨークのような大都会でもなく、カリフォルニアのような観光都市ではない都市のランニングイベントが多くランナーに指示されているのは、次のような魅力によるものであると考える。

- 1 多様な参加者のニーズに対応できる制限時間
- 2 沿道からの切れ目のない応援
- 3 スタジアムの歓声を受けてのゴール
- 4 トップアスリートとの共感
- 5 フィニッシュ後も楽しめるプログラム

味の素スタジアムを活用し、これらの魅力を取り入れたイベントを実施することで、武蔵野の森総合スポーツ施設の認知度を向上させるとともに、周辺地域の活性化を促進することが期待できる。さらに広大な敷地を利用し、他のスポーツイベントや文化イベントとの連携を図ることで、武蔵野の森総合スポーツ施設のブランド力を高め、より一層の利用促進につながる。

今後、この新たなランニングイベントの実現に向けて、コース案の作成をはじめ、応援イベントやスタジアムイベントの企画検討をすすめていく。



(フィニッシュする選手への応援)



(フェスティバルを楽しむランナー)